

廿日市市生涯学習推進方針策定に関する 職員研修会 ニュースレター vol.2

第2回 職員研修会 日 時：令和5年10月17日(火)13:30～16:30 場 所：中央市民センター 多目的ホール
参加者：36名（職員33名・社会教育委員3名）

第2回職員研修会は、現場職員の声から拓げる「方針策定に取り入れる理想・アイデア」をテーマに、檜谷邦茂さん（一般社団法人 小さな拠点ネットワーク研究所）のファシリテートで、グループワークを行いました。

【アイスブレイク】 仕事以外の顔を交えた自己紹介と、働くうえで大切にしている「価値観のちがひ」を知るトランプゲームで、「えんたくん」を囲むメンバーと知り合いました。

【ワーク1】 時代の潮流や市の教育大綱、第1回研修会のキーワードから、グループごとにテーマ（最初の葉っぱ）を選び、そこからザツダンしながら各自の経験・モヤモヤ、アイデア・課題、理想などで、葉っぱを広げていきました。

【ワーク2】 サイコロをふって自分の年齢にプラス30歳～マイナス30歳の年齢（80代や10代）になってみて、自分とは違う立場で考え、視点を変えることで気づくことを加えて、葉っぱをさらに広げました。

【まとめ】 最後にたくさんの葉の中から「大切なこと・共有したいこと」を抽出して、まとめとしました。9つのグループ発表から、方針策定に取り入れる理想・アイデアのキーワードやキーワードが浮かび上がってきました。

ー大切なこと、共有したいことー

ごきげんでいること
 大人が楽しくやれる、無理なくやれる
 気軽に、無理なく集まれる仕組み・仕掛け
 現役世代に合った集まり方のアップデート
 まずは集まること
 世代間のつながり 世代間ギャップを埋める方策
 世代間交流の仕掛けづくり
 つながるためのアプローチ
 ごちゃまぜで話し合う場
 スポーツは垣根なく楽しめるフィールド
 やりたいことをやりやすくする仕組み・制度
 やりたいことをやってみることが当たり前
 応援する周りの雰囲気
 ちょっと引っ張ってくれる人の存在
 あいさつの前に知り合う場
 カジュアルな場の提供
 どの地域でも安定したサービスを提供する責任
 建物のある強み
 地域を知る努力と知ってもらう努力



*9 グループでのワークより



感想・気づきなど（抜粋） 方針策定について、気づきができて良かった／立ち位置を明確にして、一貫性のある方針になることを期待／社会教育とは何かがよく分からなくなってきた／社会教育という言葉の輪郭がフワフワして計画との関連付けに難しさを感じた／知り合う機会の創出は今の時代だからこそ大切／知り合う土壌がしっかりあれば、何をするにしても手助けになる／まずは近隣の方と挨拶するなどして関係性を作って、話し合う場を作るのが必要／自分の世界から広がる世代交流感が必要／人と人とのつながりを作る社会教育においては、より多様な人とのつながりを意図的に作る動機づけが重要／シンプルに知り合う場を作ることを愚直にやって行くことは生涯学習の柱にして良い／社会教育の機能を満足に発揮するには世代間のコミュニケーションにかかるコストを無くす取り組みが必要／居場所はただあるだけでよいが、最低限のルール（ポジティブシンキング）は必要／人は人との関わりの中にあることが大切であり、学びつづけることで、生活を豊かにできることがエビデンスとセットで説明できるとよい／市民センターと地域の出来る事がもう少し緩和されたらいいな／イベント以外でつながる仕組みもいるのかな／市民センター職員のコーディネート力をもっと活かす必要がある／一人一人の世界を広げる出会いが作れるといいな／ノウハウを知って実践できる仕組みが必要／集まりに参加するのが苦手な人たちが気にかけていくことは必要、具体的にどういう関わり方をすればいいのかわかりたい／色んな方の生涯学習に関する意見がきけて楽しかった／普段関わらない方の意見を聞けて良かった／社会教育は市民センターだけではない、話し合う内容が狭い／幅広い参加者からの意見をもっと拾いたい／色んな立場の方とお話してベクトル合わせの難しさを痛感、とても勉強になった／多様な人との雑談を通して、新たな気づきや発見があった／キーワードから雑談を始め、色んな視点から話ができるのがよかった／葉っぱをモチーフに意見を集約して形にしていけることが新鮮

生涯学習課より ワークでは、グループ内で発見や共感し合いながら、「人と人がつながる工夫・きっかけ」など12のテーマから多くのワードが広がっていました。その中でも「無理なく・集まる・つながる・世代間」といったワードがたくさん見られ、これらをヒントに今後廿日市市にフィットする生涯学習とは何かを考えていきたいと思っています。また、この研修自体が日頃会話をしない立場、分野の人とつながる場そのものであり、ザツダンから生まれた気づきや情報が各々の日々の仕事に生かされていくと嬉しいです。